

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
 施策 05 地域福祉の推進
 主管課： 社会福祉課
 関係課： 市民協働推進課、児童福祉課、保健センター、介護福祉課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	同じ地域で暮らす市民が、お互いに支え合うという高い意識を持ったまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

地域福祉活動でお互いに支え合っていると思う市民の割合					
					(%) 社会福祉課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
50.60	46.90	46.90	49.00	52.00	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して数値が46.9%で横ばいとなっています。 (原因) 地域福祉活動計画が各地区で実践されてきていることで、人と人とのつながりが徐々に広まってきていると考えます。今後は流入人口が多い地域など、地区全体に地域福祉活動が浸透しがたい要因をもつ地区においても地区の実行委員会などが活動しやすくするため、(仮称) 地域福祉活動協力員制度の導入を進めます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	53,503	58,652	474,744	609,369	608,491
人件費	0	0	25,708	0	0
トータルコスト	53,503	58,652	500,452	609,369	608,491

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 地域福祉意識の高揚と担い手育成	横ば	横ば	低下			82	135	1,856	8,446	8,470
02 多様な地域福祉活動の推進	向上	向上	低下			14,746	14,875	15,145	10,709	10,320
03 社会福祉協議会との連携	横ば	低下				36,772	42,454	44,523	52,700	52,700
99 施策の総合推進						1,903	1,188	413,220	537,514	537,001

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

地域福祉計画や地域福祉活動計画の活動の輪を広げ、地域での支え合いの取組を進めています。 また、地域福祉活動の核となる社会福祉協議会について、役割や活動を周知していきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

社会福祉協議会が地域福祉の核として機能していると思う市民の割合は24.3%となっていますが、地域福祉計画の実現に向けた地区別（守谷、高野、大野、大井沢、北守谷、みずき野）の取組が地区別実行委員会を中心に各地域で実施されています。市においても、地域に配置した担当職員を通じ、各地域が行う活動に必要な情報提供や支援を行い、地域福祉活動計画を着実に推進し、成果向上を図っています。また、今後は本年度からスタートした第2期地域福祉計画・活動計画に基づいて推進するとともに、（仮称）地域福祉活動協力員制度の導入を目指して、地域福祉に関わる環境整備に努めます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

第1期の方針を継承した第2期地域福祉計画を推進し、より多くの市民が地域福祉に関わる環境の整備に努めます。さらに、（仮称）地域福祉活動協力員制度の導入を目指します。 また、地域福祉活動の核となる社会福祉協議会について、その担う役割や活動を周知し、市民の理解を深めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持